

国際シンポジウム

中国北朝後期から隋唐期の山東仏教石刻と東アジア（Ⅱ）

（5月15日の第54回国際東方学者会議 SymposiumⅢの2日目企画）

日時 2009年5月16日（土） 10時－16時

場所 明治大学博物館教室(明治大学駿河台校舎 アカデミーコモン地下一階)

(JRお茶の水駅徒歩3分、地下鉄神保町駅徒歩8分)

報告者

10:00－10:30

氣賀澤保規（明治大学）：山東仏教石刻と末法思想——趣旨説明に代えて

10:30－11:20

Wenzel, Claudia(ドイツ・ハイデルベルク大学)：

山東摩崖刻經とその譯本・版本、および英譯本について

On text versions carved on rocks in Shandong, their translations and editions, and the translated English version.

通訳：羅翠恂（早稲田大学）

11:20－12:00

長岡龍作（東北大学）：隋仁寿舍利塔と青州勝福寺址

12:00－13:00 昼食

13:00－13:40

北島信一（書法史研究家）：

僧安道一の石經事業に見る「儒教の招魂儀礼」と「仏教の盂蘭盆会」
—鄒魯地区石經に見られる相対的傾向—

13:40－14:30

頼非（山東石刻芸術博物館）：山東近年発見の仏教石刻とその意義（仮題）

通訳：高瀬奈津子（札幌大学）

14:30－14:45 休憩

14:45－16:00 総合討論

コメンテーター・司会 肥田路美(早稲田大学)：

山東仏教石刻をどう捉えるか

終了後、明治大学博物館特別展示室の「東アジア・海のシルクロードと“福建”」特別展の陳列品をめぐるギャラリートーク（自由参加・入場無料）

全体終了後、頼非、Wenzelの両先生を囲む気楽な懇親会を予定しています。

世話人 氣賀澤 保規（明治大学文学部）

連絡先 101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

明治大学東アジア石刻文物研究所

電話：03-3296-4491 Email：ishiken@kisc.meiji.ac.jp